

河川でのアユ冷水病の発生と河川水中の冷水病菌数

菅原 和宏

◆背景・目的.....

琵琶湖流入河川下流域でのアユ冷水病の発生状況を把握するために、アユ斃死調査を行った。また、アユ冷水病の発生と河川水中の冷水病菌数の関係を調べた。

◆成果の内容・特徴

- ・ 姉川、知内川および安曇川南流の下流域において、アユ冷水病によるアユ斃死調査を行った結果、3河川すべてでアユの斃死を確認した。
- ・ 河川水中の冷水病菌数を LAMP法で定量し、アユの斃死との関係を調べた。その結果、知内川および安曇川南流においては、アユの斃死が確認された時は河川水中の冷水病菌数も多い傾向を示した。しかし、姉川においてはそのような関係は認められなかった。

◆成果の活用・留意点

今回検出された冷水病菌の濃度で継続的にアユを飼育した場合、アユが冷水病に感染するかどうかを室内実験で確認する必要がある。

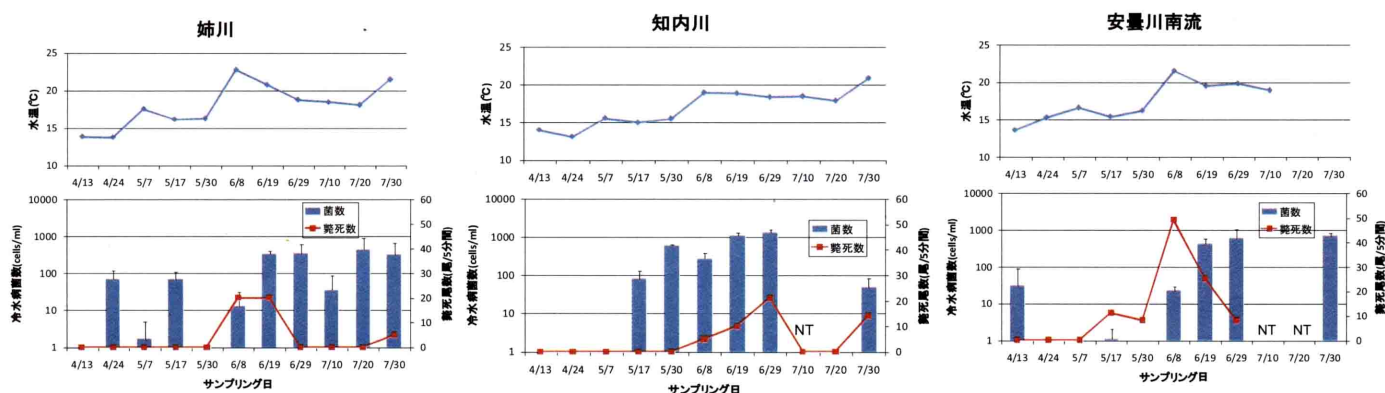


図 姉川、知内川および安曇川南流における水温、河川水中の冷水病菌数およびアユの斃死数の推移